

株式会社ジェイコムさいたま 北局 南局 放送番組審議会 概要

平成 23 年度の放送番組審議会は 2012 年 5 月 15 日(火)にジェイコムさいたま南センターで開催された。

<放送番組審議会委員>

ご出席 (五十音順)

宇 高 良 哲 様 大 島 清 様 斎 藤 陽 子 様
関 根 昭 治 様 高 梨 邦 彦 様 平 沼 大 二 郎 様

ご欠席

内 木 滋 郎 様 清 宮 安 雄 様

事業者側から現況報告及び放送法改正、J:COM チャンネルの報告があった。

【質疑応答・意見交換】

(取材依頼について)

委員 番組ガイド誌はどのチャンネルが見られるのかわからない。自分の加入しているコースがわかるインデックスがついているとよいと思う。

地元のバスケットボールのチームの後援会の会長をしている。バスケットボールは裾野が広いので、J:COM チャンネルの番組で取り上げてほしい。

事業者 BSフジがチームの放映権を持っている。放送にあたっての社内での根回しはできたが、社内関係先との調整が必要である。平沼委員にもぜひご助力いただきたい。

(防犯情報について)

委員 埼玉県では振り込め詐欺や万引きの発生件数がどんどん多くなっているようである。J:COM のサービスで注意喚起できないか。

事業者 データ放送を使用して、地域内の警察からの犯罪履歴を表示することは可能である。ひったくりや痴漢は発生現場付近にまだ犯人がいる可能性が高い。即時性が必要な情報である。『ギュギュっとさいたま』内で埼玉県警と連携する予定である。

(取材対象について)

委員 デジタル化になり画面がきれいになったことで、食べ物とアート系の番組が多くなった気がする。食べ物がおいしそうに映っていると食べたくなるし、「BS日テレ」の美術の番

組は、芸術を身近に感じさせてくれるので好感度が高い。例えば、埼玉県立近代美術館で開催されている「草間彌生展」を取り上げれば、シニア層は視聴すると思う。また、30周年、50周年を迎えた地元企業の記念的な映像や普通の人プロデュースした映像などもおもしろい。1年、2年の長期をかけて取材したような番組があればよいと思う。

事業者 貴重なご意見である。地域をきめ細かくリサーチして取材対象を見つけていきたい。

(取材対象について-2)

委員 県知事が認定した「彩の国優良ブランド品」がある。J:COM チャンネルで取り上げてみてはどうか。

事業者 公に認定があったものであればよい。報道なのか有料のインフォーマーシャルなのかの区別や、なぜその企業を取り上げたのかの理由付けが必要。

(医療番組について)

委員 医療に関する番組、季節に合わせたトピックス、最先端の話題などがほしい。

事業者 医師会の定期講演を他のケーブルテレビ局で放送していた。健康情報に関する要望はしばしばいただいている。効果効能の表現は気をつけなければいけない。医療という軸ではないが、放送できるか検討していきたい。

(歴史番組について)

委員 地域重視への取り組みに特化してほしい。『まちの記憶』では、学校の教材になるかわからないが、もっと小さい単位として、地域密着のローカル版でも歴史を取り上げてほしい。そうすれば、長期にわたって取材ができることにもなる。放送番組審議会の報告は地域ローカルの番組に重点を置いていただければよいと思う。

(解約について)

委員 解約が多いようだが、その理由はどんなものがあるのか。

事業者 1割が1年で入れ替わる。理由は転居が一番多い。半分ぐらいはこちらでコントロールできない理由である。転入者の情報は2割程度つかめていて加入のご案内をしている。

(取材先の選定について)

委員 取材の情報はどのようにして得ているのか。選定の条件はあるのか。

事業者 制作担当者のリサーチや、先方からの取材依頼がある。できるだけ新鮮な話題を

取材できるよう心がけている。ニュース性があるものやチャリティーであれば、優先して取り上げるようにしている。公共性のある団体の取材希望に応じるようにしている。イベントの 3～4 割は毎年開催するなどの定期的なものである。主催者から局側に情報がはいることもある。

以上